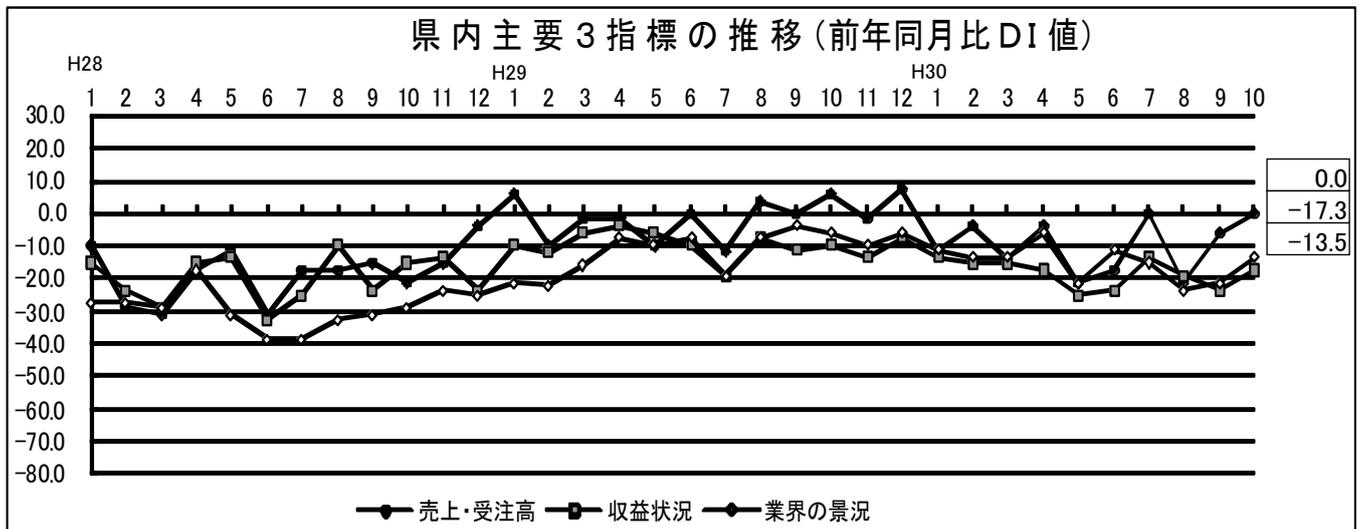


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成30年10月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 10月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「業界の景況」の5指標が上昇し、「在庫数量」「取引条件」「雇用人員」の3指標が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より5.8ポイント上昇し0.0ポイント、「収益状況」が前月より5.8ポイント上昇し-17.3ポイント、「業界の景況」が前月より7.7ポイント上昇し-13.5ポイントであった。
- 栃木県内では、下降指標が目立つ業種が一部あるものの、主要3指標は全国統計と同様に3ポイント以上の大幅上昇しているが、いずれも自然災害の影響が一段落したこと、季節イベント実施等が主要因であり、本格的な持ち直しと言えない感がある。特に、ほぼ全ての業種で、原材料費・燃料等の経営コスト上昇並びに人手不足の慢性化は深刻で、依然として厳しい状況にある。



| 主要3項目 | 県内 | | 全国 | |
|--------|-------|------|-------|-------|
| | DI値 | 前月比 | DI値 | 前月比 |
| 売上・受注高 | 0.0 | +5.8 | -4.6 | +12.6 |
| 収益状況 | -17.3 | +5.8 | -19.0 | +6.1 |
| 業界の景況 | -13.5 | +7.7 | -17.9 | +3.5 |

売上・受注高

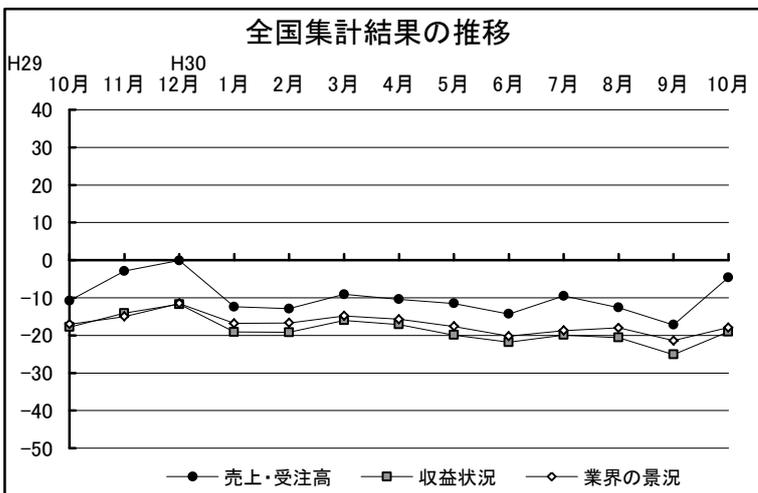
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より5.8ポイント上昇し0.0ポイントとなった。全国においては、前月より12.6ポイント上昇し-4.6ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より5.8ポイント上昇し-17.3ポイントとなった。全国においては、前月より6.1ポイント上昇し-19.0ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より7.7ポイント上昇し-13.5ポイントとなった。全国においては、前月より3.5ポイント上昇し-17.9ポイントとなった。



-概況-

10月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「業界の景況」の5指標が上昇し、「在庫数量」「取引条件」「雇用人員」の3指標が下降した。

主要3指標は、「売上高」が前月より5.8ポイント上昇し0.0ポイント、「収益状況」が前月より5.8ポイント上昇し-17.3ポイント、「業界の景況」が前月より7.7ポイント上昇し-13.5ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中2業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で6業種中3業種が上昇、1業種が低下した。「収益状況」は製造業で7業種中1業種が上昇し、非製造業で6業種中2業種が上昇、2業種が低下した。「業界の景況」は製造業で7業種中2業種が上昇し、非製造業で6業種中3業種が上昇し、1業種が低下した。

栃木県内では、下降指標が目立つ業種が一部あるものの、主要3指標は全国統計と同様に3ポイント以上の大幅上昇しているが、いずれも自然災害の影響が一段落したこと、季節イベント実施等が主要因であり、本格的な持ち直しと言えない感がある。特に、ほぼ全ての業種で、原材料費・燃料等の経営コスト上昇並びに人手不足の慢性化は深刻で、依然として厳しい状況にある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

| | 売上 | 在庫 | 価格 | 条件 | 収益 | 資金 | 設備 | 雇用 | 景況 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 食料品製造 | × | △ | △ | △ | × | × | △ | △ | × |
| 繊維・同製品 | × | × | △ | △ | × | × | △ | △ | △ |
| 木材・木製品 | ○ | △ | △ | △ | △ | △ | ○ | △ | △ |
| 印刷 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 窯業・土石 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 鉄鋼・金属 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 一般機器 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 卸売業 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | — | △ | △ |
| 小売業 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | — | △ | × |
| サービス業 | △ | — | △ | △ | × | △ | — | △ | △ |
| 建設業 | △ | — | △ | △ | △ | △ | — | △ | △ |
| 運輸業 | ○ | — | △ | △ | △ | △ | — | △ | △ |
| その他 | × | — | △ | △ | △ | △ | — | △ | △ |

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

| | 売上 | 在庫 | 価格 | 条件 | 収益 | 資金 | 設備 | 雇用 | 景況 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 食料品製造 | -75.0 | 25.0 | 0.0 | -25.0 | -75.0 | -50.0 | -25.0 | 0.0 | -75.0 |
| 繊維・同製品 | -50.0 | -50.0 | -25.0 | -25.0 | -50.0 | -50.0 | -25.0 | 0.0 | -25.0 |
| 木材・木製品 | 75.0 | -25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | -25.0 | 0.0 |
| 印刷 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 窯業・土石 | -25.0 | -25.0 | 25.0 | 0.0 | -25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 鉄鋼・金属 | 0.0 | -25.0 | 0.0 | 0.0 | -25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 一般機器 | 25.0 | -25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 製造業 | -8.0 | -20.0 | 4.0 | -8.0 | -28.0 | -16.0 | 0.0 | -4.0 | -16.0 |
| 卸売業 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | 0.0 |
| 小売業 | -14.3 | -14.3 | 14.3 | -14.3 | -14.3 | -14.3 | | 0.0 | -57.1 |
| サービス業 | 16.7 | | 0.0 | 0.0 | -50.0 | 0.0 | | -16.7 | 0.0 |
| 建設業 | 20.0 | | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | | 0.0 | 0.0 |
| 運輸業 | 50.0 | | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | | 0.0 | 25.0 |
| その他 | -50.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | 0.0 |
| 非製造業 | 7.4 | -10.0 | 3.7 | -3.7 | -7.4 | -3.7 | | -3.7 | -11.1 |
| 全体 | 0.0 | -17.1 | 3.8 | -5.8 | -17.3 | -9.6 | 0.0 | -3.8 | -13.5 |

図表3～【指標別DI値の推移】

| | 29年 10月 | 11月 | 12月 | 30年 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 前月 比 |
|-------|------------|-------|------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 売上高 | 5.8 | -1.9 | 7.7 | -11.5 | -3.8 | -13.5 | -3.8 | -21.2 | -17.3 | 0.0 | -21.2 | -5.8 | 0.0 | 5.8 |
| 在庫数量 | 0.0 | -17.1 | -2.9 | -28.6 | -20.0 | -14.3 | -14.3 | -14.3 | -11.4 | -2.9 | -11.4 | -2.9 | -17.1 | -14.2 |
| 販売価格 | 1.9 | -1.9 | 3.8 | 1.9 | 7.7 | 5.8 | 3.8 | 9.6 | 11.5 | 11.5 | 7.7 | 3.8 | 3.8 | 0.0 |
| 取引条件 | -5.8 | -5.8 | -3.8 | -3.8 | -1.9 | -3.8 | -3.8 | -5.8 | -3.8 | -3.8 | -3.8 | -3.8 | -5.8 | -2.0 |
| 収益状況 | -9.6 | -13.5 | -7.7 | -13.5 | -15.4 | -15.4 | -17.3 | -25.0 | -23.1 | -13.5 | -19.2 | -23.1 | -17.3 | 5.8 |
| 資金繰り | -7.7 | -7.7 | -7.7 | -11.5 | -9.6 | -9.6 | -9.6 | -15.4 | -9.6 | -5.8 | -11.5 | -11.5 | -9.6 | 1.9 |
| 設備操業度 | 8.0 | 20.0 | 8.0 | -16.0 | 8.0 | -4.0 | -8.0 | -12.0 | -12.0 | -4.0 | -12.0 | -12.0 | 0.0 | 12.0 |
| 雇用人員 | 0.0 | 1.9 | 0.0 | 3.8 | 0.0 | -5.8 | 1.9 | 0.0 | -1.9 | -5.8 | -7.7 | 1.9 | -3.8 | -5.7 |
| 業界の景況 | -5.8 | -9.6 | -5.8 | -11.5 | -13.5 | -13.5 | -5.8 | -21.2 | -11.5 | -15.4 | -23.1 | -21.2 | -13.5 | 7.7 |

図表4～【前月DI値差】

| | 売上 | 在庫 | 価格 | 条件 | 収益 | 資金 | 設備 | 雇用 | 景況 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 食料品製造 | -50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | -25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 繊維・同製品 | 0.0 | -50.0 | 0.0 | -25.0 | 0.0 | -25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 |
| 木材・木製品 | 25.0 | -25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 50.0 |
| 印刷 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 窯業・土石 | 0.0 | -50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 |
| 鉄鋼・金属 | 0.0 | -25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 一般機器 | 25.0 | -25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 |
| 製造業 | 0.0 | -20.0 | 4.0 | -4.0 | 4.0 | -4.0 | 12.0 | 0.0 | 12.0 |
| 卸売業 | -66.7 | -33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | -57.1 |
| 小売業 | 14.3 | 14.3 | -14.3 | 0.0 | 28.6 | 14.3 | | 0.0 | 42.9 |
| サービス業 | 33.4 | | 0.0 | 0.0 | -16.7 | 0.0 | | 0.0 | 16.7 |
| 建設業 | 40.0 | | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 0.0 | | 0.0 | 20.0 |
| 運輸業 | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | -25.0 | 0.0 | | -25.0 | 0.0 |
| その他 | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | 0.0 |
| 非製造業 | 11.1 | | 0.0 | -3.7 | 0.0 | 7.4 | | 7.4 | -11.1 |
| 全体 | 5.8 | -14.2 | 0.0 | -2.0 | 5.8 | 1.9 | 12.0 | -5.7 | 7.7 |

特記事項

情報連絡員報告（平成30年10月分）

| 所属組合 | 特記事項 |
|------------------|---|
| 和洋菓子製造業 | 今後、菓子業界は、表示関係の実施に伴い、機械の入れ替え等の費用がかかる。又、HACC P等の対応にも費用がかかる。 |
| 酒類製造業 | 8月以降の外出（外飲み）の減少が影響し、先月・今月の売上高が減少している。 |
| 縫製業 | 10月の店頭売上が昨年対比を割っており、在庫過多になっている。海外生産分はブレーキがきかないので、その分、国内生産はここ10年来で最も仕事量が少ない年である。悪い中でも、セーター、カーディガン等のニット製品が良い分、布綿関係の商品は低調である。 |
| 綱・網・レース・繊維粗製品製造業 | 本格的なシーズンに入り、受注状況も多少の動きが出て来ましたが、定番のレースは、やはり動きが鈍い。今月末には当組合も都内展示会に出展予定です。今年のトレンドを上手く掴み、取引先への提案ができるよう活動していく予定である。 |
| 一般製材業 | 前年同月比とすれば、多少加工坪数が増加したものの、全体としては低調な状況が依然として続いている。11月以降の見通しも今一つの感じである。 |
| 建具製造業 | 人手不足は厳しさが増している。 |
| 印刷業 | ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。 |
| 石灰製造業 | 先月同様、肥料向けが北海道、東北向けに増加傾向となっているが、鉄鋼は前年並み、建材関係も昨年並みで推移しているため、石灰関係全般では、前年並みとなった。 |
| 砕石製造業 | 平成30年度上期（4月～9月）の出荷量は7,924,470トンであり、昨年同期比で0.7%増加している。 |
| 陶磁器製造業 | 今年度の秋の陶器市は、11/2～11/5に開催しました。 |
| めっき業 | エネルギーコスト（電気・ガス料金）の上昇により、収益が悪化した。 |
| 金属製品製造業 | 自動車部品関連、機械設備関連、工作機械関連、プレス金型関連、半導体関連いずれも横這いであった。 |
| 一般機械器具製造業 | 30年10月の報告は前年同月と比較し全般的に不変という結果となった。受注量はわずかではあるが増加傾向で好転の兆しあり。しかし、仕入単価は上昇傾向が継続しており、懸念材料が続いている。なお、相変わらず人手不足が継続中である。 |
| 一般機械器具製造業 | 建機関係業種には若干明るさがあり、見通しも良い。自動車関連は不安定で、予想がつきにくい状況である。 |
| 各種商品卸売業 | 団地内企業は、前月に続き昨年同期と比べ燃料高騰のマイナス材料はあるものの、概ね不変又はやや増加・好転とする企業が増えている。 |
| 食肉小売業 | 気候異常の為、野菜をはじめ他の食品が値上がり、食材の価格の調整で、食肉の消費減になっている。 |
| 各種商品小売業 | 気温が暖かいことも有り、衣料品関係は低調であったが、街は人出も有り飲食関係は良かったと聞いている。全体的には一層の景気対策に期待するところである。 |
| 各種商品小売業 | 台風シーズンも終わり、秋の各種イベントのピークとなる10月であるが、今年もやはり外でのイベントに客が流れてしまい、大きく客数を落としてしまった。しかし、高単価催事の売れ行きが良く、全体の売上高としてはほぼ前年比をキープできた。年末年始の商戦へ向けて、十分な検証・反省そして計画・行動に移したい。 |

| | |
|--------------|--|
| 花・植木小売業 | 高冷地の産地から暖地産への切り替え時期となり入荷量が極端に減少し、婚礼や葬儀などの業務需要を中心とする商材から強含みの相場となり、10月トータルでは前年比で10～15%の単価高での市況推移となった。婚礼はブライダルシーズンということもあり引き合いが強かったが、小売の動きは鈍く苦戦した。 |
| 理容業 | 高齢による組合員の脱退は、相変わらず増加しており、対応策を思考中である。新規に出店する店舗への組合加入促進を取り組んで行く考えではあるが、いかに組合加入のメリットを伝えて行く事ができるのか、こちらも検討中である。 |
| 自動車整備業 | 売上高は増加したものの、部品、材料価格増により収益悪化の傾向にある。 |
| 旅館・ホテル | 宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇していたが、2018年になってからの7ヶ月間に関し少し停滞感がある。10月からは市内宿泊はトップシーズンとなり、大型イベントから学会までコンベンションも多く高稼働であった。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門は多様化しており、ホテル利用が全てではなくなってきている。飲食店利用に関しては、10月半ば過ぎからはお祝い事などが増え、やっとなぎわいが戻り始めた感がある。 |
| ビルメンテナンス業 | 倉庫内作業請負の事業高が減少する一方、人手不足により派遣人件費が増加しているため、収益が悪化した。 |
| 給食センター | 売上高は、産業弁当の食数減等により減少となった。米や野菜等の食材や燃料の値上げにより、厳しい状況ではあるが、新規の得意先の開拓・新商品の開発・コストダウンにより収益を改善する。 |
| 内装工事業 | 栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは163%増、敷物用ラベルは213%増、壁装用ラベルは14%減であった。ラベルの支給（売上）金額は前年同期4月～10月累計では、特にカーテン・敷物売上金額で増であったが、壁装用ラベルは11%減少した。 |
| 一般貨物自動車運送業 | 人手不足が常態化する中、受注量が大幅制限され、加えて燃料価格の高止まりにより収益が悪化している。年末に向け業況は更に厳しくなるものと懸念している。 |
| 貨物軽自動車運送業 | <ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品関連の仕事が好調 ・建設資材の配送（商業施設からハウスメーカー等）も好調 ・精密機器の緊急配送も件数が増加した |
| 一般乗用旅客自動車運送業 | 前年同月比で営業収益は若干上がっている。各種イベントの開催及び運転者不足の影響が出ていると思われる。 |
| 大谷石採石業 | 前回9月分と同様、昨年が多かった為、同月比では減少ですが、平年並のレベルで推移した。大阪での地震による大谷石堀の影響は出ていない。 |